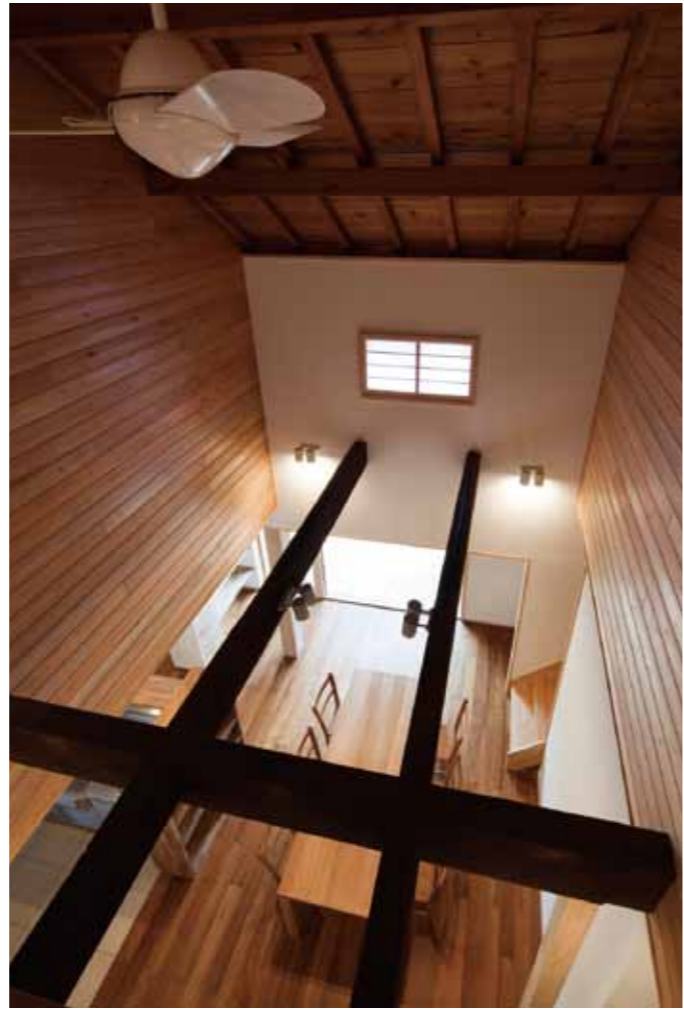
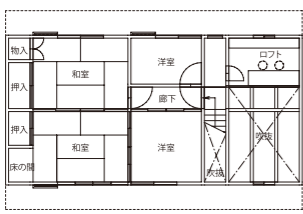


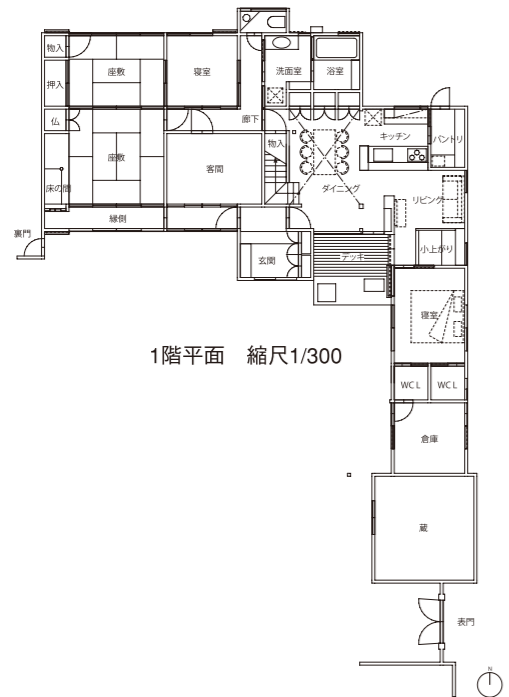
世代を超えて…。 住み継ぐことの喜びが味わえるリフォーム



2階平面



1階平面 縮尺1/300



■佐紀町の家
 所在地 奈良県奈良市
 主要用途 住宅
 家族構成 夫婦十子ども2人十祖母
 設計 進藤勝之/Atelier SETTEN
 施工 ASJ奈良スタジオ (株式会社日本中央住販)
 担当 妹尾和代
 構造・構法・規模
 木造
 地上2階
 延床面積 220.82㎡
 1階 150.96㎡
 2階 69.86㎡
 竣工 2011年3月

世代を超えて住み続けてほしい。そんな願いが込められたような太い梁。吹き抜けへの改築は、祖父の思いに触れる機会となった。平城宮跡が広がる奈良市佐紀町。両親と祖父母が暮らす純和風の家へは、子どもの成長を待つて戻らないうちに、Oさん夫妻は近所のマンションで暮らしていた。しかし、両親と祖父母が相次いで亡くなり、マンションを出て実家へ戻ることになった。風格のある門構えの屋敷は、木造建築の粋を集めたような構造。でも、築約四五年という歴史に、幼い子どもがいる若夫婦は、住み辛さを感じるようになった。何でもくちにを入れる幼児には、殺虫剤が不可欠な住まいは心配でもあった。そこで、二人目が生まれることもあり、思い切って建て替えを考えた。

当初は建て替えしかないと思っていたが、思い出が詰まった家だけに、残せるなら残したいという気持ちも強かった。そんな時、ASJの広告を見て訪ねた奈良スタジオの建築家展で出会ったのが、建築家の進藤さんだった。

そのナチュラルなファッションセンスと年齢が自分に近いこと、同じ年頃の子どもの持つことなどから、進藤氏はOさんにとって気になる存在となった。他のハウスメーカーよりも感性の合う進藤さんにひかれ、ASJとの契約が結ばれた。

「要望を十カ条にまとめ、優先順位をつけようとおっしゃって。夫は『古い小学校のような』など、抽象的なことばかりいっていましたが、私は『キッチンにはパンづくりができる作業台を』『玄関は広く』といった具体的な希望を伝えて、そのどちらも叶えていただきました。こうして、建て替えることなく、祖父母が建てた増築部のリフォームで、Oさん夫妻の望む暮らしは、実現した。

玄関の右側には、吹き抜けのダイニングキッチンを中心に、無垢の木をふんだんに使った空間が広がり、左側には仏間などが残されている。「父や母の思いと僕たちの思いを自然なカタチで融合することができました。仏壇からはダイニングにいる僕たちの姿が見えるはずですよ。母屋の二階は、将来、子ども部屋にする予定だとか。

「息子たちが年ごろになったときにリフォームをと考えています。そのときも進藤さんをお願いします」と。いまから楽しみですね。」

奥さまの言葉にも、住み継ぐことの喜びがあふれていた。
 (取材・香川泰子)